

反核医師ジャーナル

第54号 発行：核戦争に反対する医師の会・愛知

2006年8月30日

vol.24 No.2

(名古屋市昭和区妙見町19-2)
愛知県保険医会館気付
TEL052-832-1345

◆つどいにご参加を◆

横須賀から発信!

核の傘はいらない はばだけ平和憲法

第17回核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどいIN横須賀



日時

10月21日(土)～22日(日)

会場

神奈川県横須賀市 湘南短期大学
神奈川県横須賀市福岡町82番地 TEL.046-822-8781
セントラルホテル(宿泊)
神奈川県横須賀市若松町2-8 TEL.046-827-1111



参加費

医師・歯科医師 5,000円/医療関係者 2,000円/医学生 1,000円

※1日目の「チンチン電車と女学生」の上映、記念講演、特別講演は一般公開です。一般の方の参加費は無料です。

広島で、長崎で私どもの先輩医師たちは原爆で傷ついた人を助けようとする懸命の努力をしました。しかし、放射線障害の前に医学は全く無力でした。そのことは、今も変わりません。そして今後も…治すことができないのなら、私たちが医師のつとめは予防すること。市民の生命を守るため、医師として「核兵器を廃絶させなければ」と、全国各地に「反核医師の会」ができました。私たち「反核医師のつどい」はその集まりです。

10月21日(土) 13時30分～開会 湘南短期大学

ドキュメンタリー番組「チンチン電車と女学生」上映
(平成16年度日本民間放送連盟賞の最優秀賞を受賞
テレビ教養番組部門)

記念講演：堀川恵子氏 (テレビディレクター)
14:25～ 「ヒロシマ～テレビの現場から」

特別講演：吳東正彦氏 (弁護士・原子力空母の横須賀母港化)
15:35～ (問題を考える市民の会)共同代表
「米軍再編と日本の未来
～原子力空母の横須賀母港化の意味するもの～」

全体集会 基調報告、IPPNWヘルシンキ大会の報告ほか

レセプション 18:30～(セントラルホテル)
青年医師・医学生交流会 20:00～(セントラルホテル)

10月22日(日) 9時～ 湘南短期大学

分科会 「日本国憲法を考える～平和と医師の役割」
「米国の世界戦略と首都圏の核基地化」
「被爆者医療と原爆症認定集団訴訟」
「劣化ウラン兵器被害を考える」

閉会集会

チャーター船による軍港めぐり 14:30～15:30

主催 ●第17回核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい実行委員会 / 核戦争に反対する医師の会
151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5 新宿農協会館 6F 全国保険医団体連合会内 TEL.03-3375-5121 FAX03-3375-1885 hankaku@doc-net.or.jp

二十四周年記念講演会

在日米軍再編で全国にひろがる反発

米核戦略と先制攻撃態勢の危険と矛盾

非核の政府を求める会 核問題調査専門委員

新原 昭治氏

「核戦争に反対する医師の会・愛知」は六月三日(土)、二十四周年記念講演会を開催し八十人が参加した。以下、講演内容を紹介する。



講演する新原氏

各地で反対の世論にさらされる米軍再編計画

はじめに、米軍再編計画に対する反対の世論についてお話し

する。

今進められている再編計画の特徴は、圧倒的多数の関係自治体が反対の声をあげているという点である。

山口県岩国市で三月に行われた住民投票では、投票者の八九%が、岩国基地強化に反対の意志を示した。

五月三十日に閣議決定した米軍再編を「着実に」進める基本方針についても各地の自治体は強い批判をあげている。

沖縄の代表的な新聞、琉球新報は、今回の閣議決定に対し「長期にわたる在沖基地の固定化を推進するもので、容認しがたい。基地のない平穏な島という理想

が遠のいていくことに強い危機感を覚える」と、県民の声を代弁した。

島袋名護市長や稲嶺沖縄県知事からさえ強い不満が出されている。

沖縄では「たらい回し方式」がくり返されている。一つ基地を返したらそれに代わる新基地を日本政府の責任、国民の税金でつくれというアメリカの要求であり、日本に米軍基地を永久におき続けるための「没主権方式」である。主権国家としてお

よそ考えられない。これに加えて、三兆円といわれる国民負担。そもそも、米軍の再編や移転のために日本が財政負担をする規定はどこにもない。

米軍再編の目的

米軍再編には大きな目的が二つある。

一つは、世界戦略に基づき、日本を世界最大の米軍の一大拠点基地にすることである。今でも世界有数の米軍基地国家である日本を、いっそう強化しつつ

ある。ドイツや韓国でみられる米軍の大幅削減や基地撤去とは、およそ対照的である。

もう一つは、日米共同の基地づくりである。自衛隊と米軍が基地の相互利用をすることで、日米共同の戦争体制づくりをおすすめるようとしている。

何が変わるのか

日本には戦後ずっと、アメリカの前進軍事拠点として数多くの基地がおかれてきた。ベトナム侵略戦争では決定的な役割を果たした。

しかし、新戦略の危険は「前進抑止」という新しい戦略思想を盛り込んでいることだ。「前進抑止」とは「海外を拠点に先制的な攻撃を行う」態勢のことである。たとえ相手が何もしていなくても、軍事力を発動するという前のめりの構えを日常的にとり、日本をそのための重要な出撃拠点にするという発想である。

在日米四軍別に見ると、次のような計画になる。

陸軍

キャンプ座間への米陸軍第一軍団司令部(米国ワシントン州)の移転。同司令部は、米太平洋陸軍の下で、緊急展開部隊の司

令塔である。イラク戦争で多くのイラク国民を殺りくした最新鋭の戦闘装甲車ストライカー部隊を直接指揮する。さらに米陸軍は、沖縄に特殊部隊の本拠をおいており、アジアでの秘密軍事作戦の最大の拠点としての役割を果たそうとしている。

海軍

横須賀、佐世保、沖縄のホワイビーチ軍港は、航空母艦や強襲揚陸艦の母港となりあるいはそれらが常時寄港していて、米艦隊の出撃基地としての役割を果たしている。横須賀には二〇〇八年に原子力空母ジョージ・ワシントン配備すると発表した。これを許せば横須賀は、米原子力空母の唯一の海外母港となる。

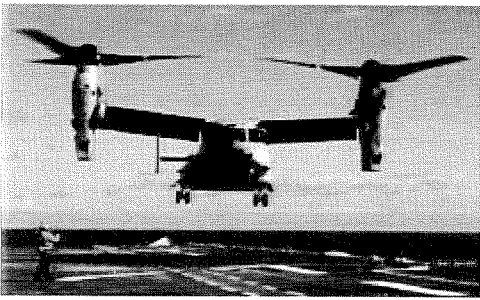
海兵隊

海兵隊にとつて日本は、海外における唯一の出撃拠点である。沖縄と岩国を中心に再編が進んでいるが、司令部要員八千人をグアムに移すというものの、殴り込み部隊の海兵の実戦部隊一万人はそのままである。重大なのは、普天間基地返還

の「代償」と称して、名護市キャンプ・シユワブ沿岸で新基地建設を強行しようとしていることである。二本の滑走路を持つ、普天間以上に強化された攻撃基地になるのは、目に見えている。オスプレイというヘリコプターと飛行機を合体させたような新型航空機も配備される見通しである。しかし五回も重大事故を起こしており、地元住民はこれまで以上に危険を伴うものと警戒し、反発している。

海兵航空基地の岩国では、海軍艦載機を新たに配備し、海兵航空隊と一体化した基地強化が計画されている。

空軍



オスプレイ：海兵隊員や装備を輸送、敵地への遠征強襲作戦を行う

在日米空軍は航空宇宙遠征軍に組み込まれている。三沢基地、嘉手納基地が拠点となり、現にイラク作戦に参加している。東京の横田基地は軍事空輸作戦のアジア最大の拠点として、イラクやアフガニスタンへの戦略輸送の中継地点になっている。ここに自衛隊の航空総隊司令部を移転させ、米軍指揮の下に、自衛隊を海外の戦争に参加させたための本格的な体制作りが追求されるよう圧力をかけていた事実さえ明るみに出された。政府の「沖縄の負担軽減のための米軍再編」という宣伝には、沖縄県民から「迷惑である」という批判の声が上がっている。実際、沖縄でも基地機能はかえって強化されようとしている。

「沖縄の負担軽減」の裏に隠れるもの

政府は「米軍再編は沖縄の負担軽減のため」とか「抑止力維持のため」と宣伝している。しかし、実際に何がその裏にあるのを見ていきたい。

米軍再編を進めるために、日米両政府にとっての最大の難所は日本国民の世論である。その世論の抵抗を切り抜ける切り札として、沖縄の負担軽減とか抑止力維持という口実を準備しているのが現実である。さらに、姑息な方法として、各防衛施設局の在日米軍再編担当者、自治体の反対決議を未然に押さえ

るよう圧力をかけていた事実さえ明るみに出された。政府の「沖縄の負担軽減のための米軍再編」という宣伝には、沖縄県民から「迷惑である」という批判の声が上がっている。実際、沖縄でも基地機能はかえって強化されようとしている。

米軍再編が本格的に始まるうとした一昨年十月、小泉首相は講演で「関係自治体に事前に相談し、OKした場合にアメリカと交渉する」と明言した。ところが現実には、自治体に何の相談もせず、要望にも耳を傾けず、もっぱら対米秘密交渉を行った。そして結論だけを自治体に押しつけるやり方が、大きな反発を生む原因になっている。

「抑止力維持」というのも虚構である。ブッシュ政権自身「先制攻撃戦略を効果的に行うため」と位置づけており、それを日本の安全のためと合理化することはできない。

ブッシュ政権が米軍再編を進める三つの動機

動機の一つ目は「効率化をはかる」ためである。

アメリカは平時でも二十数万人を海外に派遣している。現在はイラク戦などがあり、四十万を超える米兵が海外に派遣されており、米軍兵士や家族のストレスはブッシュ政権の頭を悩ませていた。そこで、外国に配備する米兵をできれば少なくして、矛盾を小さくしたいという思惑がある。

二つ目は「先制攻撃戦略をやりやすくする」ためである。これが、本質的なねらいだが、ハイテク兵器の発達や宇宙の軍事化の進行を、このために最大限に利用しようと考えている。

三つ目の動機は「同盟国軍とともに戦える体制づくり」である。米軍再編計画で同盟国との軍事関係強化は早くからの構想であったが、イラク戦争で泥沼に陥ったアメリカは、同盟国軍をもっと活用することによって窮地から脱したいと考えている。

アメリカは平時でも二十数万人を海外に派遣している。現在はイラク戦などがあり、四十万を超える米兵が海外に派遣されており、米軍兵士や家族のストレスはブッシュ政権の頭を悩ませていた。そこで、外国に配備する米兵をできれば少なくして、矛盾を小さくしたいという思惑がある。

二つ目は「先制攻撃戦略をやりやすくする」ためである。これが、本質的なねらいだが、ハイテク兵器の発達や宇宙の軍事化の進行を、このために最大限に利用しようと考えている。

三つ目の動機は「同盟国軍とともに戦える体制づくり」である。米軍再編計画で同盟国との軍事関係強化は早くからの構想であったが、イラク戦争で泥沼に陥ったアメリカは、同盟国軍をもっと活用することによって窮地から脱したいと考えている。

イラク戦争がすすむ中で「同盟国軍の利用」の位置づけが高まったが、それは軍事占領がうまくいかず、米兵が足りなくなっていることと密接に関係している。二〇〇三年十一月の大統領声明では同盟国軍の利用は第二の目的だったのに、その一年後の公式声明では、第一の目的に格上げされた。湾岸戦争を率いた元陸軍中佐は「政府は退役兵士の福祉手当を削ってまで新兵募集費にまわし、高額な死亡手当で若者を引きつけようとしているが、うまくいかない。そこで、ローマ帝国がやったように、外国の兵士に肩代わりさせようとしている」と指摘している。これがブッシュ政権の本音だろう。

政府は自衛隊の海外派兵を「国際平和協力活動」と言っているが、それはごまかしである。米軍のために日本の自衛隊が軍事力を提供し、ゆくゆくは戦場で米軍と肩を並べて戦争できるようにしたいというのが彼らの本音である。憲法九条を壊そうとしている真の背景がここにある。

内部文書から明らかになる 国民世論への恐れ

しかし、こんな戦略をすすめるアメリカ政府は実は日本国民の反発を恐れている。そのことは、解禁された一連の米政府内部文書が示している。

実際アメリカの内部文書には、彼らがいかに日本国民の世論や

運動によって矛盾を深めたかが記されている。基地反対の世論と運動はアメリカの基地政策をしばしば挫折させてきた。普天間基地の代わりの辺野古沖基地計画の挫折はそのことを裏づけている。

米戦略のキーワード「長期戦争」と「全地球的打撃」

ブッシュ政権の新しい軍事戦略を見ておこう。イラク戦争開戦時、彼らは「敵を迅速に打ち負かす」と強調した。ところが、最近の米戦略文書からはこの言葉がすべて消えた。代わりに「長期戦争」を強調している。常時戦争態勢というべきもので、「長期」とは「数十年」の期間をさすという。

何のための長期戦争か。米政府は「テロ対策」と言っているが、公式戦略文書を見ると、米国の協力を拒む国を「脅威」とみなすなどとしている。テロ対策を口実に、世界的にアメリカの軍事支配の拡大をめざしているのである。

もう一つの米戦略のキーワードは「全地球的打撃」で、世界

世界における大規模な海外米軍基地の資産評価額一覧

(2005年度「米国防総省基地構造報告書」による。資産評価額が十億ドル以上のもの(単位=億ドル) 新原氏提供)

順位	基地名	国	資産評価額 (単位=億ドル)
1	嘉手納基地 (空軍)	日本	46.7
2	横須賀基地 (海軍)	日本	42.8
3	三沢基地 (空軍)	日本	41.1
4	横田基地 (空軍)	日本	35.9
5	ラムシュタイン基地 (空軍)	ドイツ	33.9
6	ツレー基地 (空軍)	グリーンランド	28.3
7	キャンプ・シールズ (海軍)	日本	27.3
8	ケフラビク基地 (海軍)	アイスランド	26.3
9	ディエゴガルシア支援施設 (海軍)	英領	22.7
10	クアジャリン環礁	クアジャリン	21.8
11	佐世保基地 (海軍)	日本	21.2
12	オサン基地 (空軍)	韓国	19.4
13	キャンプ・フォスター (海兵)	日本	19.4
14	岩国基地 (海兵)	日本	17.7
15	レークンヒース基地 (空軍)	イギリス	17.1
16	グアンタナモ湾基地 (海軍)	キューバ	17.1
17	厚木基地 (海軍)	日本	15.4
18	ロタ基地 (海軍)	スペイン	15.3
19	シュパンダーレム基地 (空軍)	ドイツ	14.4
20	キャンプ・キンザー (海兵)	日本	14.3
21	ヨンサン駐屯地 (陸軍)	韓国	13.1
22	クンサン基地 (空軍)	韓国	12.6
23	ビルゼク南キャンプ (陸軍)	ドイツ	12.1
24	インジルリク基地 (空軍)	トルコ	12.0
25	読谷補助飛行場 (海軍)	日本	11.7
26	ホワイト・ビーチ (海軍)	日本	11.4
27	グラーフエンバール東キャンプ (陸軍)	ドイツ	11.2
28	ミルデンホール基地 (空軍)	イギリス	10.9
29	ホーヘンフェルス訓練場 (陸軍)	ドイツ	10.9
30	キャンプ・ケーシー (陸軍)	韓国	10.8
31	キャンプ座間 (陸軍)	日本	10.5
32	キャンプ・ハンセン (海兵)	日本	10.3

のどこにでも迅速に核・通常両戦力による先制攻撃を加える態勢をとることだ。それが、アジアに最大のホコ先を向けている。アメリカには十四隻の戦略原潜がある。昨年夏までは大西洋と太平洋に七隻ずつの配備体制だったのが、現在は太平洋・アジア向け九隻に重点配備された。

この戦略原子力潜水艦の核戦力は驚くべきものだ。一隻に二十四発のミサイルを搭載してあり、ミサイル一発に平均六個の核弾頭が装着されている。一個の核弾頭の爆発力は百〜四百五十キロトンで、原潜一隻の核爆発力が広島型原爆(十五キロトン)四千発分に相当する。

これが、いつでも使える態勢で引き続き世界の海に配備されている。世界には核拡散問題があるが、最大の核保有国アメリカのこういう核使用態勢は重大である。

**吉田茂しか知らなかった
秘密の安保条約調印**

世界的規模で日米間の軍事同盟が強化される根拠になっていた日米安保条約について、どのようにして結ばれたかを、最後にお話しておきたい。

日本政府は占領下の一九五一年九月八日、六人の全権団をサンフランシスコに派遣し、平和条約に調印した。その数時間後、吉田茂ただ一人の調印により安保条約は結ばれた。なぜ一人だったのか。理由が、アメリカの解禁秘密文書から明らかになった。「安保条約の条文はごくわずかの日米両政府関係者以外、誰にも知らされていなかった。吉田代表だけが日本代表として調印したのも、残りの日本全権使節は条約の内容を全く知らなかったからである」。このように、全

資料

(新原氏提供)

■米軍の新兵募集難のため
同盟国軍利用の声さらに
高まる——一連の指摘から

ブッシュ政権は、イラク戦争が泥沼化する中で、他の同盟国軍隊の利用をこれまで以上に真剣に追求しはじめた。新兵募集難など、米兵が不足していることとの直接の反映である。イラク戦争で米軍がおちいつている窮状との関係で、いかにアメリカ政府が日本など同盟国の軍隊の役割をこれまで以上に米軍の共同戦相手として活用しようと考えているかを、元米軍職業軍人やアメリカの新聞・通信などの指摘から抜き出した。

▽ラルフ・ジンマーマン元米陸軍
中佐(湾岸戦争に参加した戦車大隊司令官)

「ますます深刻になる新兵募集難に直面して、一つのメツセーじが見え隠れしている。昔のローマ「帝国」のように、お金を出して雇い兵を集めれば、兵隊になる難儀から自分のこと

政治家たちが考えている。」二〇〇五年三月十八日、米電子雑誌『デイフェンス・ウォッチ』
「新兵募集の泥沼を抜け出すために」
▽自衛隊をアメリカの戦争にひきずりこむ
AP通信二〇〇五年四月九日配信
「東京・横田基地発」これまでもあまりなかったほどの日米安保同盟の本格的再検討を通じて、日本とアメリカは軍事再編の交渉をおこなっており、沖縄からの若干の米海兵隊の移動とか、東京南方の米軍キャンプ(米陸軍キャンプ座間)への米ワシントン州の陸軍司令部の統合などがおこなわれようである。だが、もっと根本的なことがとりあげられている。アメリカ政府は、みずからの軍隊が世界各地に薄くひろがっているため、この交渉を通じて日本をアメリカの安全の傘から抜け出させ、日本を世界的な戦略作戦のもっと能動的なプレーヤーとして役立つよう背中をおしている。ライト在日米軍司令官は、この交渉の目的の一つが、日本との『共同作

戦能力』の強化にあると述べた。」

▽イラクの緊迫で外国軍が必要
ロサンゼルス・タイムズ
二〇〇五年三月十一日付

「イラク戦争のため、ペンタゴンの作戦計画立案者らは軍事力使用の重要な前提条件を考え直さざるをえなくなった。二〇〇三年三月のバグダッド強襲はすらすらとすすんだが、その後の血なまぐさい二年間のせいでペンタゴンの青写真が台無しになった。ペンタゴン内部では、ブッシュ政権首脳がイラク戦争はフセイン体制崩壊とともに終わりバグダッド陥落後六カ月以内に三万人駐留体制で十分と想定したことに批判の声が聞かれる。その結果、同盟国軍から援助を求める発想がペンタゴンではもっぱらである。陸軍と海兵隊がイラクとアフガニスタン向け兵員要求で緊迫するにつれ、同盟国の参加がいつそう重要性を帯びてきている。今後米軍がおこなう大規模作戦にあたっては、外国軍が必要になると作戦計画立案者らは語っている。」

面占領下の暗黒の秘密交渉で押しつけられたのが、日本に米軍基地をおく「特権」をアメリカに与えた日米安保条約だった。これが、今日に及んでいるのである。

米軍基地体制から抜け出したアジア諸国

今、東アジアではASEANに見られるように、軍事同盟に頼らず互いに主権を尊重しあつて平和を確保するという大きな流れができています。

これらの国々にも米軍基地がおかれていたが、一九七〇年代以後次々撤去され、いま東アジアで米軍基地があるのは韓国と日本だけになった。

私たちも、基地のない日本を実現しよう。過去の侵略の歴史にも、世界の平和の流れに背を向ける動きにも、終止符を打ち、憲法九条の道を進んで、近隣諸国との友好を深める道を進むべきである。(了)

当日寄せられた感想から

・日頃疑問に思っていた安保条約や米軍基地の真意を具体的に

な資料より解説していただき、勉強になった。日本がなぜこのような不合理を受け入れ続けているのか大きな疑問。百年後の教科書には、当時安保条約という不合理な条約があったと反省の一文が載っていることを望む。

・とてもわかりやすい話だった。日本は完全にアメリカの州。日本の国民はなぜ立ち上がれないのか。じれったい。自身も含めて。

・産軍共同体で利益を追求している米国の考えはそれなりにわかるが、それに無条件で追隨している日本の自民系政治家や、何も考えずに彼らを選出する「何も考えない日本国民の多数派」がわからない。秘密裏に決められた「日米安保」が米軍駐在の根拠だということが分かり、大いに勉強になった。資料もよくわかった。

・米軍・核戦略の動向について整理されており、歯切れよく話され、聞き入ってしまった。アメリカ追従からの脱出へ、草の根で「九条の会」を広げていきたい。

反核医師の会・愛知 核兵器廃絶、被爆者救済めざし、 原爆症認定裁判支援をすすめるよう

総会開催報告

「核戦争に反対する医師の会・愛知」は、○六年四月八日、保険医協会伏見会議室にて、総会を開催し、十九人が参加した。

総会では、○五年度活動報告、○六年度活動方針を決めるとともに、役員を選出した。

同時に、平山武久氏（核戦争に反対する医師の会事務局長）を招き、「米国の核戦争体制と日本を考える」をテーマに学習会を開催した。

活動報告

1. 反核医師・医学者のつどいin愛知を開催

十月二十二日（土）～二十三日（日）、中京大学名古屋キャンパスで、第十六回「核戦争に反対し、廃絶を求める医師・医学者のつどいin愛知」を開催した。「なくせ核兵器、なくすな9条」をメインスローガンにして、



シンポジウム、四つの分科会、映画『アンゼラスの鐘』上映を企画し、二日間で三百十三人が参加した。

内容、参加者とも大きな成功を収め、開催地として医師の会の活動を前進させる取り組みに貢献することができた。特に、医学生や若手医師の参

加も多く、医学生の中で「来年も参加できるように位置づけた」の声も出るなど、反核平和運動を若い医師に引き継いでいく流れの端緒ができた。

2. 二十三周年記念講演会

五月十四日（土）、保険医協会伏見会議室にて、「核時代を生きる―劣化ウラン弾被害が問いかけるもの―」をテーマに、田城明氏（中国新聞社編集委員）を招き、二十三周年記念講演会を開き、六十八人が参加した。

3. 原爆症認定訴訟支援

原爆症認定訴訟の勝利に向けて被爆者支援ネットに参加し、毎回、公判の傍聴を続けている。

4. イラクの医療支援

イラクへの医療支援に取り組む「セイブ・イラクチルドレン名古屋」の活動に協力して、医師の研修受け入れ、医薬品の支援などを行った。七月には（株）タスクから生検針の無料提供の申し出があり、イラクから来日した医師らに託し、段ボール六箱七百二十一本の各種生検針をイラクの病院に贈った。

5. 国際会議に代表を派遣

IPPNW北アジアブロック会議（八月・広島）および原水爆禁止世界大会（八月・長崎）に代表を派遣した。

6. 反核医師ジャーナルの発行

二回発行した。

活動方針

1. 二十四周年記念講演会

六月三日（土）に保険医協会伏見会議室で、二十四周年記念講演会を開催する。

内容は、「在日米軍基地再編で全国にひろがる反発」をテーマに、新原昭治氏（非核の政府を求める会）を招いて企画する。

2. 反核医師・医学者のつどい

第17回核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい（十月・神奈川県）に参加し、つどい成功のために協力する。

3. 国際会議への代表派遣

IPPNW国際会議（九月・ヘルシンキ）、原水爆禁止世界大

会（八月・広島）、劣化ウラン兵器禁止国際大会（八月・広島）に代表を派遣する。

4. 原爆症認定訴訟支援

名古屋の訴訟は九月結審、年内判決の予定で進められており、四人の原告の勝利めざして、原爆症認定訴訟を支援する。

5. 核廃絶のための署名推進

今秋の国連総会に向けた「すみやかな核兵器の廃絶のために」の国際署名に取り組む。

6. イラクの医療支援

セイブ・イラクチルドレン名古屋がすすめる医師の研修受け入れ、医薬品を送る活動などを、引き続きサポートする。

7. 反核医師ジャーナルの発行

二回発行する。

役員選出

代表・事務局長・事務局長次長を次の通り選出した。

- 代表 堀場英也
- 事務局長 中川武夫
- 事務局次長 土井敏彦

被爆者の原爆症認定を求める集団訴訟

大阪地裁・広島地裁で全面勝訴

大阪9名・広島41名を
原爆症と認める

て「現に医療を要する状態にある」と認め、厚労省の認定却下（「切り捨て」）を取り消すと判決を言い渡した。原告には、「入市」と呼ばれる、原爆投下後に家族を捜して市内に入った人や軍の命令で救援に入った元兵士、また爆心地から二キロ以上で認定対象外として排除されてきた遠距離被爆の人も多く、これらの被爆者を含め全員を原爆症と認定した、大阪地裁の成果を引き継ぐ判決となった。

現在、すでに判決のあった大阪・広島を含む全国十五の地裁で、国から原爆症の認定申請を却下された百八十三名の被爆者が、集団裁判を行っている。しかし二〇〇三年四月の集団提訴以来、高齢化の中ですでに二十四人の原告が亡くなった。「国は、被爆者が死に絶えるのを待っている」とまで言われる現状で、被爆者の原爆症認定は一刻を争う課題となっている。

放射線起因の立証を、被爆者に求めるのは不可能

判決要旨の中で、裁判長は「放射線による後障害は、特異な症状を呈するわけではなく、その症

状は放射線に起因しない場合と全く同様である」「加えて、放射線が人体に影響を与える機序は、いまだ科学的にその詳細が解明されているわけではなく」「被曝された放射線量そのものも、その評価は不完全な推定によるほかはないのが現状である」「このような状況のもとで、当該疾病が放射線に起因して発症したことの直接の立証を要求することは、当事者に対し不可能を強いることになりかねない」と、はっきりと述べている。

入市・遠距離被爆者にも多発した、急性原爆症の原因を説明できない認定基準

そして放射線量推定算式として、一九八六年以来国が採用したDS86も、被爆者の個別裁判で負け続けた挙げ句に厚労省が近年適用している「原因確率」も直爆等による初期放射線にあってはめられる程度で、入市被爆者らが残留放射線を受けた内部被曝・外部被曝をほとんど反映しない非常に不十分なもの。従って、国が平成一三年以来使っている「原爆症認定に関す

る審査の方針」は参考資料程度のものに過ぎない。それよりも、発熱、下痢、脱毛、皮膚粘膜炎、重度の全身倦怠感などの急性原爆症が発現したかどうかの方が、現代の緊急被曝医療で認められている症状との相関が強くと述べている。

国は、大阪でも広島でも控訴

大阪・広島両地裁判決で、入市・遠距離被爆者を含む原告全員に、国の認定却下を取り消し原爆症と認める画期的な判決が言い渡され、全国の被爆者と支援する世論は大きな喜びに沸いた。

しかし、国は公判の中でまともな反証もできなかったにもかかわらず控訴した。

大阪・広島判決を尊重し、認定基準を改めて被爆者の救済を

被爆者の平均年齢は七十四歳を超え、残された時間は少ない。被爆者たちは「生きていこううちに認定を！」と願っている。被爆者の組織である被団協は、

結成後、一貫して被爆者の救済と併せて核兵器廃絶を訴えて運動してきた。国は、両地裁の判決を尊重して控訴を取り下げ被爆行政を改めて、誠実に被爆者救済にあたるべきである。

名古屋の結審は九月四日

四人の原告に必ず勝利を！

愛知の原告は、軍の命令で広島市内へ救援に入り被曝した甲斐昭さんら四人。甲斐さんと森敏夫さんは兵士として救援に入った入市被爆者で、二人とも「軍の命令に忠実に従い、広島に入って被曝した。原爆のせ

いで、私は人生を狂わされた」と言う。「それなのに、国は私の病気を原爆症と認めない。この裁判に勝つまでは私は死ねません！」と、甲斐さんはときに声を震わせてあいさつで訴えてきた。

裁判は九月四日（月）午前名古屋地裁・大法廷で最終弁論が行われて結審し、判決を待つことになる。

韓国の医師グループ、在韓被爆者と交流して大きな収穫

反核医師の会『平和と交流の旅 in韓国』に参加して

中川 武夫

全国の反核医師の会が呼びかけた『平和と交流の旅 in韓国』（七月十五日―十七日）には、長崎・広島など九府県から十三人が参加した。

この韓国ツアーが企画されたのは、昨秋十月に、名古屋で開催した「第十六回核戦争に反対



緑色病院での交流会参加者

し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい」にチョン・ヒョンジュン、キム・チンクク両医師を招いた際、広島・長崎で被爆し韓国に帰った在韓被爆者の現状調査報告を受け、その後

の交流を約束したことにあ

反核医師の会と人道主義実践医師協議会との交流会

職業病患者の治療と研究のセンターである緑色病院にて

ソウルのホテル到着後すぐ、チョン医師の尽力で実現してきた「人道主義実践医師協議会」（人医協）の医師と交流のため緑色病院に向かった。

二〇〇三年に開院した同病院は、職業病患者を含め多くの患者の治療を行っており、職場環境や職業病の研究機関も併設さ

緑色病院の玄関



れている。病院は、日本の戦後補償の一環で一九六六年に日本から持ち込んだ中古設備で操業開始した人絹（ビスコース・レーヨン）生産工場の大規模な労働災害への補償金をもとに設立された源進財団により運営されている。この職業病は源進レーヨン病と呼ばれ、設備の欠陥により労働者九百人余に二硫化炭素中毒患者が発生、脳卒中様の症状がでたという。

交流会前の院内見学の時、案内の医師は、七階の開放的な窓から地域を見下ろしながら、「この病院は、低所得者層の多い地

域にあります」と言い、「学習・奉仕・参加」をモットーに掲げて地域と結びついていると紹介した。同病院には人医協に参加する医師が多いと見られる。

【交流会で】

広島で、在韓被爆者の手帳申請と治療に協力する医療活動

初めに、被爆者の治療と原爆症認定集団訴訟の支援に尽力している広島共立病院の青木克明院長が、被爆者医療の現状、被爆者手帳取得には来日しなければ手続きできない在韓被爆者支援への広島共立病院の取り組みなどについて、画像で治療に関わるデータを示しながら報告した。同病院が韓国から手帳取得や健康管理手当て申請、治療のために受け入れた被爆者は三百十二人にのぼるとい

国民の健康権の保障、社会の民主化へ活動する「人医協」

人医協からは、緑色病院の院長をはじめ七人が参加した。一九八七年の創立で、①国民の健康権保障、医療制度の改革、韓

国社会の民主化などを目標にしている、②会員数は七百名余りで四十歳代前半の医師が精力的に活動している。具体的には低所得者層への公的制度の充実や、独自の基金によるホームレス・移民労働者などへの医療支援などの医療活動をしているとのこと。

手帳取得が困難な被爆者への援助をぜひ！

在韓被爆者の会と交流

十六日の夜、チョン・ヒョンジュン医師の仲介を得てソウル市内の居酒屋で食事をしながら被爆者と交流した。韓国原爆被害者協会からはバク・ヨンピョ会長と事務局長など四人が参加、在韓被爆者の抱えている問題について聞いた。

会には二百五十人が登録しているが、手帳を持っているのは二千二百人余り。二百九十八人は、証人がいない、高齢で記憶が曖昧なので書類が書けない、などの理由で放置されている。

この人たちにも手帳が発行されるよう、日本の医師たちも一緒に協力して、日本政府に働きかけてほしい、と強く要望された。

原水爆禁止二〇〇六年世界大会・広島 核兵器廃絶、原爆症認定、平和憲法 遵守は緊急課題と確認し合同

「核兵器のない平和で公正な世界を」をテーマに、原水爆禁止二〇〇六年世界大会・広島が八月四〜六日、広島県立総合体育館で開催された。大会には二十一カ国七十人の海外代表をはじめ、全国から八千五百人が参加。原爆症認定訴訟の広島地裁全面勝訴を受けて国の認定行政の早急な見直しと、核廃絶を国際政治の具体的な日程に上らせることを中心課題として確認する場となった。

原爆症認定訴訟 全面勝利の速報が

「ここで速報です。原爆症認定を国に却下された被爆者が広島地裁に却下取り消しを求めていた裁判で、全面勝利判決が出ました」――世界大会開会総会のプログラムの最中に、速報が



秋葉市長

アナウンスされると満員の参加者からは歓声と大きな拍手がわき起こり、会場は総立ちとなった。

判決は、国が「原爆放射線の影響はほとんどない」と認定を却下してきた例について、残留放射線による内部被曝など、放射線の人体への影響がまだ解明されていないもとの、国の認定基準は「過去の一時点における一応の参考資料として評価するのにとどめて、全体的、総合的に検討することが必要」であり「機械的に適用すべきではない」と不当性を指摘。原爆投下後爆心地入りした「入市被爆者」や爆心地二キロ以遠で被曝した「遠

距離被爆者」についても認定すべきとした。

平均年齢が七十四歳になる被爆者に、すでに同様の裁判で原告が勝訴している大阪地裁判決や九月に結審を迎える名古屋地裁での訴訟などで国がこれ以上いたずらに裁判を長期化することは許されず、国の認定行政見直しは急務といえる。

核廃絶を国際政治の日程に

今なお、二万七千発もの核兵器が存在するなか、核保有国五カ国が「自国の核兵器の完全廃絶」を「明確な約束」として受け入れたのは、二〇〇一年の核拡散防止条約（NPT）だった



会場全体風景



原爆慰霊碑からドームをのぞむ

が、アメリカは九・一一テロ以降、「テロや拡散の阻止」を口実に、NPT再検討会議（二〇〇五年）や国連サミットで核廃絶はおろか核軍縮すらも拒否している。大会では、「十月の国連総会で核兵器全面禁止条約締結決議採択を」求める決議も採択され、「すみやかな核兵器の廃絶のために」（国際署名）を広げて世論を高めることが呼びかけられた。

平和憲法を守り

核廃絶を誠実に

五日には広島市内各地で「被爆の真相の普及、支援と連帯」「原爆遺跡・碑めぐり」など十五の分科会や国際フォーラムなどが開かれた。

六日の広島市原爆死没者慰霊式ならびに平和祈念式典で、秋葉市長は「日本国政府には、被爆者や市民の代弁者として、核保有国に対して『核兵器廃絶に向けた誠実な交渉義務を果せ』と迫る、世界的運動を展開するよう要請します。そのためにも世界に誇るべき平和憲法を遵守」を宣言した。一方、昨年まで「平和憲法を遵守」と言明していた小泉首相は「憲法の平和条項を遵守」と述べ、改憲への思いを滲ませたあいさつとなった。

大会は、六日の閉会総会で、「広島決議 広島からのよびかけ」「特別決議 政府に被爆者政策の抜本的転換を要求する」が提案され、満場の拍手で採択し閉会した。

イラクの人々の暮らしと

医療現場の現状を聞く

—愛知医大放射線科で研修したクルド医師を囲んで—

浅野 晴義

イラクの医療事情

愛知の反核医師の会では、五月初めから七月までの三カ月間、バスラ・ゼネラル病院からセイブ・イラクチルドレン名古屋の招きで来日し、愛知医大放射線科で研修中だったクルド医師を囲んで懇談会を行った。

日本の生活にも慣れ、研修も軌道に乗った時期の六月十五日夜、愛知県保険医協会・伏見会議室で医師の会から八人のほかセイブ・イラクチルドレンの活動に関心のある大学生、通訳の女性などの参加で、イラクの状況、日本での研修と生活の感想などを和やかな質疑形式で語り合った。クルド医師は私たちの質問に答えて次のような話をしてくれた。

バスラ・ゼネラル病院は施設が古くて、医薬品もいつも欠乏しているので患者との間でトラブルが起きる。放射線科も、器材不足のうえ故障して修理してないので使えない、フィルムや現像液が足りないなどの状況。超音波は使っているが、三台のうち一台は壊れている。

「病院に戻ったら、あなたの一歩欲しいものは何ですか?」との問いには「CT、MRIです」との回答が返ってきた。ウーン、バスラ教育病院に送ったCTは、形は設置したもののソフトがインストールできずに、

そのままになっているんだけど考え込んでしまった。

患者の医療費負担は、二〇〇三年までは負担があったが、今は公的病院での治療は無料で、入院には少し負担があるだけのことだった。予防接種は、BCG、ポリオ、麻疹、水ぼうそうなど五歳以下の子どもたちに行き届いて行われているとのこと。期せずして「日本より進んでいるね」と感想が出た。

彼女は、イラクで多くの市民がテロの犠牲になっている不条理に心を痛め、日本の自然と穏やかさを感じ入っていると語った。改めて彼女の研修がイラクの人々の役に立つようにとの願いを深めた一夜だった。



左側クルド医師。イラクで、人々がテロの犠牲になっている現実を悲しいと語った

会費納入のお願い

二〇〇六年度の会費の納入をお願いいたします。郵便振替用紙をご利用いただくか、次の銀行口座あてにお振り込みください。

■三菱東京UFJ銀行・八事支店 普通預金1081297

「核戦争に反対する医師の会」

*ご不明な点などございましたらお手数ですが、ご連絡ください。 ☎〇五二一八三二一三四五

第17回 核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める 医師・医学者のつどい in 横須賀

今年の「つどい」は、関東の反核医師の会が協力して実行委員会を結成し、準備を進めています。

参加をご希望の先生は「反核医師の会・愛知」までご連絡ください。

- とき 10月21日(土)~22日(日)
- ところ 湘南短期大学
(横須賀市稲岡町82番地 TEL046-822-8781)
- メインテーマ
「横須賀から発信!
核の傘はいらない はばたけ平和憲法」
- 内容は表紙をご参照ください
- 主催

第17回核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい実行委員会、核戦争に反対する医師の会

I P P N W世界大会・代表派遣のカンパにご協力をお願いします

9月7日から10日までフィンランドのヘルシンキで開催される第17回I P P N W世界大会に、堀場英也代表、中川武夫事務局長および山本節子世話人が参加します。

代表派遣のためのカンパにご協力をお願いいたします。

ご協力いただける方は、同封の振り込み用紙で会費と併せてご送金いただければ幸いです。